

大阪・関西万博に向けた取組

SMBCグループはキャッシュレス決済における 大阪・関西万博のプラチナパートナーです

大阪・関西は、SMBCグループにとってマザーマーケットのひとつです。三井住友銀行では、2021年4月に関西成長戦略室を設置し、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）を中心とする関西の大型プロジェクトを通じた地域貢献や、社会課題解決に向けて取り組んできました。

その中で、日本の現金志向の高さと、その結果として発生する現金取扱コストを社会課題と捉え、大阪・関西万博をキャッシュレス決済普及の契機とするため、2023年10月に、大阪・関西万博のキャッシュレス決済・『ミyakペ!』プラチナパートナーとなりました。

● 万博会場内の全面的キャッシュレスへの貢献

大阪・関西万博は、万博として初めての「全面的キャッシュレス」に挑戦しています。SMBCグループは、会場内へのオールインワンキャッシュレス端末「stera terminal」および「stera mobile」の約1,350台の提供を通じて、この挑戦を支援しています。これらの端末は1台で国内外の約70種類のキャッシュレス決済手段に対応できることに加え、対象の入場券利用者や、大阪・関西万博独自電子マネー「ミyakペ!」利用者には顔認証決済も体験していただけます。



約70種類の
決済手段が
オールインワン!



● 大阪・関西万博独自の電子マネー「ミyakペ!」

SMBCグループは大阪・関西万博独自電子マネー「ミyakペ!」の開発およびサービス提供も行っています。

また「ミyakペ!」の利用によって会員ステータスが上昇することで、パビリオンへの特別入場や記念品等、ステータスに応じた特典を獲得可能な「ミyakミyakリワードプログラム」のプラットフォーム提供も行っており、「ミyakペ!」を使う楽しさの提供にも貢献しています。



ミyakペ!



大阪・関西万博
公式キャラクター
ミyakミyak
©Expo 2025



他にも
SMBCグループはパビリオン出展・協賛等の
さまざまな形で大阪・関西万博に参画しています。
ぜひご来場ください!

住友館（住友グループ19社で出展する企業パビリオン）